(4) 歴史のゾーンの基本目標

とけあう歴史、それは郷土の情緒感

基本目標

- 歴史性に富んだ地区や建物等の保存を図る
- 歴史的景観の保全と創造を図る
- 歴史に学び、歴史とのふれあいを促進する

多くの県民が、「神社や寺」、「伝統行事」を今後も残して置きたいと思っています。（昭和62年「望ましい環境に対する意識調査」より）

これは、このような歴史的資源が、地域の人々の精神文化と密接に関係しており、先人に対する思いやり、行事や祭祀を通しての人と人、人と季節とのふれあいが、人々の生活と真にとけあっているからです。

したがって、誇りある歴史、趣きのある歴史が、人々のこころの中にとどまり、そして、歴史ならではの良さを次の世代におくるため、地域の歴史は共有財産だという意識を持ちながら、大切に守り、育て、いかしていくことが必要です。



寺町（大野市）

■ 福井の歴史、伝統の特徴

歴史を今に伝える文化財

本県は、古くから畿内文化、大陸文化の影響を受け、数々の歴史的文化財があります。小浜市、武生市、大野市などは、戦災や震災の難をのがれたこともあり、寺社を中心とした貴重な歴史的建築物が多く残り、まち中やその周辺の家並みにも当時の面影が残っています。

また、県を代表する寺として曹洞宗大本山永平寺があり、毎年多くの参拝客が訪れ県民の誇りともなっています。

身近な生活の場にある古城、神社、祠、地蔵堂

本県は、古城や城跡が数多くあり、まちのシンボルとなっています。また、集落や古くからの街道沿いには、必ずといっていいほど神社、祠、地蔵堂があり、地域のシンボルとなっていると同時に、祭礼、盆おどりなどを通してコミュニティ形成の場ともなっています。これらの多くはその周りが鎮守の森となって、大木が生い茂り、歴史の年輪を感じさせてくれます。

情緒あふれる伝統文化

豊かな自然に恵まれた本県の風土は、各地に独特の人情、風習、芸能、祭りなどを育んでいます。これらは、先人たちが日々の生活から編みだした、素朴で、しかも情感あふれる伝統文化で、地方色豊かな伝統行事となっているものも数多くあります。

■ 福井の歴史、伝統の課題

情緒のある歴史を伝え、いかす

◆ 本県は、全域的に歴史的資源が豊富にあります。このような情緒ある歴史的資源は、今後とも維持管理し、次の世代に伝えていく必要があります。

◆ 本県には、歴史的建築物は数多くありますが、これらが集中している例は少なく、多くは分散しています。これらの施設の周辺では、歴史性との調和を考えながら、創意工夫し、積極的に歴史的雰囲気を守り、つくっていく必要があります。

◆ 身近な生活の場にある歴史的資源は、地域のコミュニティの場、地域のシンボルとして守り、育て、いかしていく必要があります。

歴史とふれあい、歴史に学ぶ

◆ 歴史、伝統については、特別史跡一乗谷朝倉遺跡のような歴史公園や、歴史散策路などにより、歴史とのふれあいの場、郷土の歴史を学ぶ場として活用していく必要があります。

◆ 地域の歴史を活用したイベントや祭りを開催し、地域の歴史性をアピールしていく必要があります。

◆ 地域の歴史や歴史的雰囲気は、地域の共有財産だという意識を持つことが大切です。